

●1万人のエコチェック事業実践率一覧● (11月26日時点)									
No.	公衛協名	全委員数	実践者数	実践率	No.	公衛協名	全委員数	実践者数	実践率
1	府中町	97人	52人	54%	14	安芸太田町	48人	21人	44%
2	海田町	91人	26人	29%	15	北広島町	406人	108人	27%
3	熊野町	30人	9人	30%	16	安芸高田市	271人	33人	12%
4	坂町	24人	23人	96%	17	東広島市	976人	244人	25%
5	江田島市	167人	0人	0%	18	三原市	400人	49人	12%
6	竹原市	90人	62人	69%	19	世羅町	485人	62人	13%
7	大崎上島町	54人	54人	100%	20	尾道市	342人	150人	44%
8	大竹市	71人	52人	73%	21	福山市	1,175人	645人	55%
9	廿日市市	294人	135人	46%	22	府中市	696人	436人	63%
10	廿日市市大野	668人	157人	24%	23	神石高原町	31人	18人	58%
11	廿日市市佐伯	21人	10人	48%	24	三次市	450人	183人	41%
12	廿日市市吉和	23人	6人	26%	25	庄原市	340人	141人	42%
13	廿日市市宮島	44人	13人	30%	26	吳市	1,959人	584人	30%

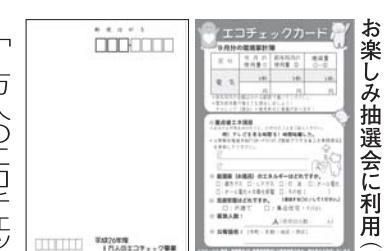
【全推進委員数】9,250人 【電気】1世帯あたりの電気使用量 約463kWh
【実践者数】3,273人 【実践率】35.4% 前年比平均増減量 ⇒ 約48kWh削減

トの際に呼びかけをする。また、実践率を向上するため市町公衛協会では、①切手を貼りポストに投函できるようにする。(2)会合やイベントによる。

省エネは、これから地球環境を考えるうえで避けては通れない課題である。引き続き、皆さまのご協力をお願いする。

「1万人のエコチェック事業」は、県内約1万人の公衆衛生推進委員が各家庭で省エネに取り組み、電気等の使用量を前年同月分と比較して、その効果を数値化する事業である。推進委員への啓発を目標に実施しており、最終的には県民運動として展開し、県全体で二酸化炭素の排出抑制、環境問題を取り組む生活習慣の確立を目的に取り組み、今年度で5年

にかけて、「見える化」取り組み5年目を迎える昨年に比べ約111トンのCO₂を削減



エコチェックカード(上)、集まったカードは県大会にてお楽しみ抽選会に利用(下)



（地域活動支援センター）

「1万人のエコチェック事業」

「見える化」取り組み5年目を迎える

昨年に比べ約111トンのCO₂を削減

目を迎えている。今年の実践率は35.4%で、県大会当日に会場である尾道市の県立びんご運動公園には3273枚のカードが集まつた。目標の実践率50%には及ばなかつたが、毎年徐々に実践率が向上している。

運動に取り組んだ推進委員からは、冷蔵庫や電球を省エネタイプに買い換えた「エアコンを28度に徹底した」などとの声が聞かれた。今年は天候短縮した」などの声が「テレビの視聴時間を管理を28度に徹底した」と運動に取り組んだ推進委員からも、「エアコンを利用する際、室温を28度に徹底した」と「テレビの視聴時間を管理を28度に徹底した」などとの声が聞かれた。今年は天候が悪く、涼しく感じる夏だったため、多くの市町でCO₂の削減に繋がり、有効回答を頂いた県内3166世帯で、昨年と比べ、15万3530kWhの電気使用量を削減した。これは、約111トン分のCO₂の排出を抑制したことになる。

また、実践率を向上するため市町公衛協会では、①切手を貼りポストに投函できるよう

ことになる。

（地域活動支援センター）



開会セレモニー

脱・温暖化フェア2014inひろしま開催

住民・企業・行政が環境取り組みを発表

立産業会館において
11月21、22日、広島県

脱温暖化フェア2014

の出展団体は、環境配
りのイベント
あつた。
それぞれのイベント
社が出展され、約140
約7000人の来場が
あった。

22日、県内各地の地球
脱温暖化フェアでは、
報告会と活動PR
の普及を図った。

14 inひろしま」が
開催された。この行事
は脱温暖化センターひ
ろしま、環境省中国四
国地方環境事務所広島
事務所、経済産業省中
國経済産業局、広島県
が実行委員会をつくっ
て開催しており、今年で
5回目を迎える。

このイベントは、国や
県、企業や住民などさ
まざまな主体が、環境
問題や政策を共有、啓
発しようと企画してい
るもの。また、普段の活
動とは異なる領域の
人々に活動を知つても
らつたり、情報収集する
ことをねらいに、「建設
技術フリーラム」「工
イノベーションメッセ」
と同時開催している。

今年度は「2014建設
技術展示会」も同時
に開催され、2日間で
約7000人の来場が
あった。



お互いの近況を報告しあうTEAMの面々(上)、展示ブースで、来場者や他のTEAMメンバーと情報交換を実施(中)、体验コーナーで自慢のアクティビティを披露(下)



14 inひろしま」が
開催された。この行事
は脱温暖化センターひ
ろしま、環境省中国四
国地方環境事務所広島
事務所、経済産業省中
國経済産業局、広島県
が実行委員会をつくっ
て開催しており、今年で
5回目を迎える。

このイベントは、国や
県、企業や住民などさ
まざまな主体が、環境
問題や政策を共有、啓
発しようと企画してい
るもの。また、普段の活
動とは異なる領域の
人々に活動を知つても
らつたり、情報収集する
ことをねらいに、「建設
技術フリーラム」「工
イノベーションメッセ」
と同時に開催している。

今年度も、イベントの

垣根を越え会場全体で

の体感を出し、出展

者間や一般参加者とのコ

ミュニケーションの推進

をねらい、会場全体を

周遊するクイズラリー

を企画して出展企業者

や般参加者など多くの

方に挑戦いただいた。

挑戦者には、各部門

マットやハンディクリー

ナ、エコバッグなど省

エネやごみ減量に繋が

るグッズ、出展団体から

の粗品が手渡され、省工

ネや環境配慮商品の利

用など、異なる取り組

みの普及を図った。

今年度も、イイベントの

垣根を越え会場全体で

の体感を出し、出展

者間や一般参加者とのコ

ミュニケーションの推進

をねらい、会場全体を

周遊するクイズラリー

を企画して出展企業者

や般参加者など多くの

方に挑戦いただいた。

挑戦者には、各部門

マットやハンディクリー

ナ、エコバッグなど省

エネやごみ減量に繋が

るグッズ、出展団体から

の粗品が手渡され、省工

ネや環境配慮商品の利

用など、異なる取り組

みの普及を図った。

今年度も、イイベントの

垣根を越え会場全体で

の体感を出し、出展

者間や一般参加者とのコ

ミュニケーションの推進

をねらい、会場全体を

周遊するクイズラリー

を企画して出展企業者

や般参加者など多くの

方に挑戦いただいた。

挑戦者には、各部門

マットやハンディクリー

ナ、エコバッグなど省

エネやごみ減量に繋が

るグッズ、出展団体から

の粗品が手渡され、省工

ネや環境配慮商品の利

用など、異なる取り組

みの普及を図った。

今年度も、イイベントの

垣根を越え会場全体で

の体感を出し、出展

者間や一般参加者とのコ

ミュニケーションの推進

をねらい、会場全体を

周遊するクイズラリー

を企画して出展企業者

や般参加者など多くの

方に挑戦いただいた。

挑戦者には、各部門

マットやハンディクリー

ナ、エコバッグなど省

エネやごみ減量に繋が

るグッズ、出展団体から

の粗品が手渡され、省工

ネや環境配慮商品の利

用など、異なる取り組

みの普及を図った。

今年度も、イイベントの

垣根を越え会場全体で

の体感を出し、出展

者間や一般参加者とのコ

ミュニケーションの推進

をねらい、会場全体を

周遊するクイズラリー

を企画して出展企業者

や般参加者など多くの

方に挑戦いただいた。

挑戦者には、各部門

マットやハンディクリー

ナ、エコバッグなど省

エネやごみ減量に繋が

るグッズ、出展団体から

の粗品が手渡され、省工

ネや環境配慮商品の利

用など、異なる取り組

みの普及を図った。

今年度も、イイベントの

垣根を越え会場全体で

の体感を出し、出展

者間や一般参加者とのコ

ミュニケーションの推進

をねらい、会場全体を

周遊するクイズラリー

を企画して出展企業者

や般参加者など多くの

方に挑戦いただいた。

挑戦者には、各部門

マットやハンディクリー

ナ、エコバッグなど省

エネやごみ減量に繋が

るグッズ、出展団体から

の粗品が手渡され、省工

ネや環境配慮商品の利

用など、異なる取り組

みの普及を図った。

今年度も、イイベントの

垣根を越え会場全体で

の体感を出し、出展

者間や一般参加者とのコ

ミュニケーションの推進

をねらい、会場全体を

周遊するクイズラリー

を企画して出展企業者

や般参加者など多くの

方に挑戦いただいた。

挑戦者には、各部門

マットやハンディクリー

ナ、エコバッグなど省

エネやごみ減量に繋が

るグッズ、出展団体から

の粗品が手渡され、省工

ネや環境配慮商品の利

用など、異なる取り組

みの普及を図った。

今年度も、イイベントの

垣根を越え会場全体で

の体感を出し、出展

者間や一般参加者とのコ

ミュニケーションの推進

をねらい、会場全体を

周遊するクイズラリー

を企画して出展企業者

や般参加者など多くの

方に挑戦いただいた。

挑戦者には、各部門

マットやハンディクリー

ナ、エコバッグなど省

エネやごみ減量に繋が

るグッズ、出展団体から

の粗品が手渡され、省工

ネや環境配慮商品の利

広島県では、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第10条第4項に基づき、平成26年度広島県献血推進計画を策定しました。今回は前回に引き続き、血液の目標量を確保するための具体的な実施事業について説明します。

県内約12万5千人の献血を目標

出張講座など若年層への働きかけ



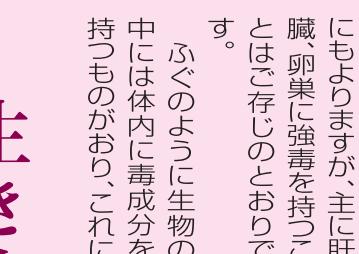
県は広島県赤十字血液センターなどが実施する体験学習会やボランティア活動などに積極的に協力し、献血推進キャラクター等を活用した広報活動を実施します。また、200ミリリットル献血については、将来の献血基盤となる高校生などを若年層の初回献血を中心とし、教育委員会や血液センターと協力・連携して、献血や血液製剤に関する正しい知識の普及啓発を行います。

さらに、小学生向けには幼い時期から献血に関する知識を持たせるため、血液センターの見学会や出張講座などを行い、献血に触れる機会を積極的に設けます。また、成人式を迎える「はたち」の若者を中心に、献血を呼びかけています。次回も、計画の続きをご紹介します。

成27年1月1日～2月28日)を実施しています。広く県民の皆様に対しても献血を呼びかけています。



キャンペーンポスター



血液製剤を安定的に確保するため、「はたち」の若者を中心とし、献血を呼びかけています。次回も、計画の続きをご紹介します。

(広島県健康福祉局薬務課)

標に取り組むとともに、さらなる受動喫煙防止対策に取り組みます。

喫煙は、がんの大きな要因であり、治療に悪い影響を及ぼすため禁煙しましょう。また、妊娠中の喫煙は妊娠合併症や出生後の乳幼児突然死症候群のリスクとなることから、妊娠を機会に禁煙しましょう。

【たばこ】

広島県の成人の喫煙率は15.3%(平成23年度)

であり、成人男性については26.9%、成人女性については5.5%となっています。

男性では30～50歳代の働き世代



で30%を超えており、女性では20歳代

及び40歳代で10%を超えています。

喫煙は、がんや循環器疾患、COPD

などの呼吸器疾患、糖尿病など多くの疾患との因果関係が確立しています。

広島県においては、喫煙による健康被害についての普及啓発や、企業やそ

の従業員の方へのがん検診の受診促進、たばこ対策の取り組みについての働きかけ、インターネット禁煙マラソンによる禁煙したい人への支援を行って

がみられます。

そのため、20歳代からの職域や市

町での歯周疾患検診の実施につ

いて、推進したり、広島県歯科衛生連絡協議会などの関係機関と連携し、事業所に

おける歯周疾患検診への取り組

みなどを実施し、今後も普及啓

発など歯科保健活動の充実を

図ります。

う歎や歯周疾患を予防するた

めの方法を知り、実践するとと

もに、定期的に歯科健診を受けま

しょう。

(広島県健康福祉局 健康対策課)

喫煙は『がん』の大きな要因

30歳代から歯周炎急増

標に取り組むとともに、さらなる受動喫煙防止対策に取り組みます。

喫煙は、がんの大きな要因であり、治療に悪い影響を及ぼすため禁煙しましょう。また、妊娠中の喫煙は妊娠合併症や出生後の乳幼児突然死症候群のリスクとなることから、妊娠を機会に禁煙しましょう。

【歯・口腔の健康】

平成23年度歯科保健実態調査によ

ると、進行した歯周炎を有する人の割

合は、20歳代では4.7%であるのに対

し、30歳代で21.1%、40歳代で

25.9%、50歳代で36.0%、60歳代

で38.8%と30歳代での急激な増加がみられます。

そのため、20歳代からの職域や市

町での歯周疾患検診の実施につ

いて、推進したり、広島県歯科衛生連絡協議会などの関係機関と連携し、事業所に

おける歯周疾患検診への取り組

みなどを実施し、今後も普及啓

発など歯科保健活動の充実を

図ります。

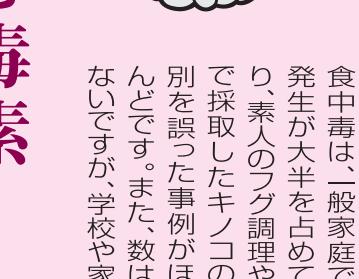
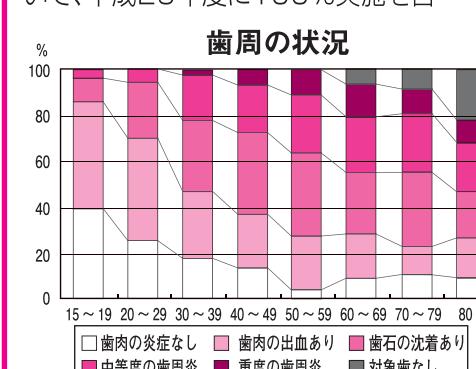
う歎や歯周疾患を予防するた

めの方法を知り、実践するとと

もに、定期的に歯科健診を受けま

しょう。

(広島県健康福祉局 健康対策課)



食中毒は、一般家庭での発生が大半を占めており、主に肝臓、卵巣に強毒を持つことはご存じのとおりです。ふぐのように生物の中には体内に毒成分を持つものがあり、これにもよりますが、主に肝臓、卵巣に強毒を持つことはご存じのとおりです。

食中毒は、一般家庭での発生が大半を占めており、主に肝臓、卵巣に強毒を持つことはご存じのとおりです。ふぐのように生物の中には体内に毒成分を持つものがあり、これで採取したキノコの判別を誤った事例がほとんどのことです。また、数は少ないですが、学校や家庭で発生する貝類にも要注意です。

と同様にソラニンと呼ばれる毒素が含まれるので注意が必要です。その他潮干狩りをする際には、アサリなどの二枚貝で発生する貝毒にも要注意です。

せんが、フグ毒やキノコ毒等と比較して、件数、患者数は多くはありませんが、普段安全なものとし

て口にしている食材でも、栽培方法や生育環境などにより毒素を蓄積することがあるので、自家で栽培採取したも

のを食べる際には注意しましよう。

よる食中毒は自然毒食中毒と呼ばれています。フグのテトロドトキシン、貝毒のオカダ酸やサキシトキシン、ジャガイモのソラニンなど、原因毒素が明らかなるものも

あります。キノコ毒の詳細が不明なるものが多くあり、加熱調理で毒素が分解されないのが共通する特徴です。

近年の自然毒によるフグ・キノコは、プロにまかせてあります。キノコ毒の詳細が不明なものも多くあり、加熱調理で毒素が分解されないのが共通する特徴です。

等で栽培したジャガイモが原因の食中毒も発生しています。ジャガイモの芽に毒があることは一般的に知られていますが、未熟なイモや栽培の過程で日光が当たります。自然毒食中毒は、全

てのを食べる際には注意しましよう。

(食品検査課 吉原正雄)

生き物に潜む毒素

食中毒は、一般家庭での発生が大半を占めており、主に肝臓、卵巣に強毒を持つことはご存じのとおりです。ふぐのように生物の中には体内に毒成分を持つものがあり、これで採取したキノコの判別を誤った事例がほとんどのことです。また、数は少ないですが、学校や家庭で発生する貝類にも要注意です。

と同様にソラニンと呼ばれる毒素が含まれるので注意が必要です。その他潮干狩りをする際には、アサリなどの二枚貝で発生する貝毒にも要注意です。

せんが、フグ毒やキノコ

毒等と比較して、件数、患者数は多くはありませんが、普段安全なものとし

て口にしている食材でも、栽培方法や生育環境などにより毒素を蓄積することがあるので、自家で栽培採取したも

のを食べる際には注意しましよう。

(食品検査課 吉原正雄)

